


文・編集・発行 / 斉藤新緑 Tel 〈0776-82-1141〉 Fax 〈0776-82-2261〉
【斉藤新緑事務所】 〒913-0001 福井県坂井市三国町池上103-36
【e-mail】 sinryoku@aurora.ocn.ne.jp
【ホームページ】 http://www.ss.apdw.jp

ほっとらん



人に、まちに、いま、
元気の種をまこう。

VOL. 83

襟裳岬 えりも

作詞・岡本おさみ
作曲・吉田拓郎
歌・森進一

北の街ではもう 悲しみを暖炉で
燃やしはじめてるらしい
理由のわからないことで
悩んでいるうちに
老いぼれてしまうから
黙りとおした歳月を
拾い集めて 暖めあおう
襟裳の春は 何もない春です

君は二杯目だよ ね コーヒーカップに
角砂糖 ひとつだったね
捨てて来てしまった わずらわしさだけを
くるくるかきまわして
通りすぎた夏の匂い
想い出して 懐かしいね
襟裳の春は 何もない春です

日々の暮しは いやでもやってくるけど
静かに 笑ってしまおう
いじけることだけが 生きることだと
飼ひ馴らしすぎたので
身構えながら話すなんて
ああ おくびょうなんだよね
襟裳の春は 何もない春です

寒い友だちが 訪ねてきたよ
遠慮はいらないから 暖まってゆきなよ

競争から共生へ

建築の生業は凡そ次のように分けることができる。
それは、「建築屋」、「建築士」、「建築家」の三つである。

それぞれ違うのかというと、「建築屋」とは、コンクリート・鉄硝子で出来た、何の精神性(心)をも持たない単なる物理的空間を造り売る人達のことを建築屋という。

「建築士」とは自動車整備士とか会計士等のように技術を売り物とする人達のこと、それを一級建築士・二級建築士という。

そして「建築家」とは画家、音楽家、作家と呼ばれるアーティスト達と同じ仕事をしている人のことを指すのである。

日本の都市や建築が美しく潤いのあるものになるためには、単なるエンジニアであってはならないのである。それぞれが「建築家」であるよう心がけねばならないのである。

出江寛

〇〇屋、〇〇士、〇〇家、各々にいろんな仕事をあてはめて考えてみると良い。

政治屋、政治家、政治家は次の時代を考えた政治屋は次の選挙を考える」という名言がある。

いわゆる政党政治家は、自分の利益のことばかり考えて行動するが、本当に国家と国民のことを考える政治家は、将来のことを考えて政治を行うものだ。

地方議会に足を踏み入れて、24年。初めて町議会に立候補したのは34歳のとき。今では、誰も覚えていないが、その時言ったのは二つ。

①「グローバル・シンク・ローカル・アクト」(世界的な大局的視点から考え、足元から行動する)、つまり、よく勉強して、世の中の動向を知り、方向性を間違えないように的確に行動するということ。

②「地方自治は民主主義の学校である」。

間接民主主義では、自分たちの代表(政治家)を選んで政治をする。

だから、選ばれた議員たるべき者、投票者の代わりに発言し、代わりに決めたこと、知ったことを報告する、そして皆に考えてもらわねばならない。この「ほっとらん」は、そのために、発行し続けているものだ。

あつという間の4年間、気がつけば24年であった。

「この国はどうなるのか」、「これから農業はどうなるのか」と、問われることが多い。

問い詰めれば、グローバル化、世界自由貿易など、どこが正しいのか。

市場競争原理で、弱肉強食の世界大競争。一握りの企業(紙幣印刷会社)が暴利をむさぼるために、政治を支配

し、護られてきた「その国のかたち」を壊し、世界中を自分たちに都合のよい土俵に乗せ、世界の隅々まで市場を追い求め、自然から与えられた水や空気や種まで支配してしまふ。挙句の果てが、戦争ビジネス、戦争屋となる。

24年間、学んだことといえば、滅びに向かってひた走る狂ったものさしで計るのではなく、自然の中で生かされている人間としての謙虚で豊かな持続可能な里山経済を創ること。

東尋坊を500万人観光地に！

福井県観光新戦略(案)を批判する

第17次(二次4年)議会最後の2月定例会、予算特別委員会最終の総括質疑を行いました。いわば、大トリの役目を果たす立場で、県政全般の総括的な質疑をすべきところですが、今議会に提案された福井県観光新戦略(案)があまりにひどいので、これをすんなり認めるわけにはいかず、大幅修正を求め、「65分一本勝負」で、この問題だけに集中して質疑を行いました。

井県議会のホームページ、「県議会録画中継」でご覧ください。

要

▼福井県観光新戦略(案)の概要

計画期間は、平成27年から平成31年までの5年間、観光計画と目標が書かれています。数値目標は上表の通りです。

基本目標

指標	現状値 (平成25年)	目標値 (平成31年)
(1) 観光客入込数	1,034万人	1,300万人
(2) 観光消費額	836億円	1,200億円
(3) 観光客入込数100万人以上の観光地数	1か所	5か所
(4) 教育旅行受入数	6.9万人	10万人
(5) 外国人宿泊者数	2.8万人	10万人

「海湖と歴史の若狭路」の広域観光圏の確立、を重点施策としています。

「海湖と歴史の若狭路」の広域観光圏の確立、を重点施策としています。

「海湖と歴史の若狭路」の広域観光圏の確立、を重点施策としています。

特に、観光戦略において、「恐竜」と「乗谷」を「絶対的観光地」として「極める」として、予算を集中しているのに対し、福井県唯一の一〇〇万人観光地であり、「福井県は知らなくても東尋坊は知っている」という福井県の代名詞である東尋坊が「絶対的観光地」ではなく、「極めな

い」ことは、観光戦略に偏見性が感じられ強い怒りを感じました。

「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

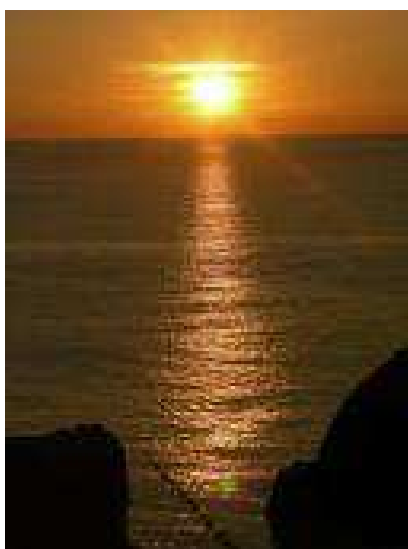
「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

「舞鶴若狭道「若狭さとうみハイウェイ」の全線開通を機に、県と嶺南6市町が連携して進めてきた「海湖と歴史の若狭路」の魅力作りをさらに

平成25年度 福井県主要観光地観光客入込順位ベスト15

市町名	観光地(施設)名	観光客 順位	観光客 (県内客+県外客)	県外客 順位	県外客	県外客 比率
坂井市	東尋坊	1	1,179,000	1	961,000	81.5%
あわら市	あわら温泉	2	865,000	3	550,000	63.6%
鯖江市	西山公園	3	824,000	13	247,000	30.0%
勝山市	恐竜博物館・かつやま恐竜の森	4	733,000	2	586,000	79.9%
福井市	一乗谷朝倉氏遺跡	5	670,000	5	469,000	70.0%
敦賀市	氣比神宮	6	624,000	7	437,000	70.0%
越前町	越前海岸(越前町)	7	610,000	9	394,000	64.6%
大野市	大野まちなか観光	8	574,000	6	444,000	77.4%
坂井市	福井県児童科学館	9	563,000	26	113,000	20.1%
小浜市	道の駅「若狭おぼま」	10	504,000	4	479,000	95.0%
永平寺町	大本山永平寺	11	481,000	8	404,000	84.0%
福井市	越前海岸(福井市)	12	445,000	17	207,000	46.5%
若狭町	熊川宿・道の駅「若狭熊川宿」	13	379,000	10	303,000	79.9%
坂井市	丸岡城	14	352,000	14	246,000	69.9%
坂井市	芝政ワールド	15	339,000	11	295,000	87.0%



夕日の見える東尋坊

また、雄島などを含めた天然記念物、地質学的な自然公園としてジオパーク(ジオ地球大地、パーク公園)に登録し、外国人観光客の拠点とします。」

ちなみに、外国人観光誘客は、北陸三県でも大きく遅れています。

タイからの観光客は、富山県1万5千人、石川8千人、福井211人。

タイ人には、「雪」と「鉄道」が人気ということなので、戦略的に考える必要があります。

▼トップブランド東尋坊

福井県観光新戦略(案)では、100万人観光地を5カ所つくとされていますが、どこの観光地を指しているのか不明で、その根拠となるものも見えません。

それとはもかく、既に福井県唯一の100万人観光地として、100万に到達している東尋坊については、「古くから観光地」として無策のまま忘れ去られようとしています。

「新たな観光地づくり」に取り付かれていて基本的なことが見えていないようです。

福井県の観光客入込み数ランキングを見れば、相変わらず、1位は東尋坊、2位は芦原温泉です。

「東尋坊を見て、芦原温泉に宿泊する」パターンは相変わらず健在で、福井県のトップブランドです。

県外観光客数(外貨獲得額)においても、東尋坊はダントツの1位です。

東京駅アンケート調査結果でも、認知度は、恐竜博物館27%、東尋坊80%、永平寺73%、あわら温泉40%となつています。

東尋坊が認知度においても



福井県唯一の100万人観光地 東尋坊

ナンバーワンです。

しかし、福井県観光新戦略(案)では、だから恐竜博物館をもっと宣伝しよう、ということにつなげています。

▼「絶対的観光地」東尋坊を全面改修して500万人観光地として極める!

1、入場料

現在、100万人観光地東尋坊は入場料を取っていませんが、仮に100円とれば1億円、1000円とれば10億円になります。

2、冬でも来れる東尋坊

東尋坊の観光シーズンは春から秋ですが、冬の東尋坊を室内から展望したり、日本海の荒波や夕日の見える展望風呂を設置したり、三重県長島温泉の「なばなの里」のようにイルミネーションで、樹木公園を装飾

するなどできれば、冬の東尋坊への誘客は可能だと思います。

3、滞在時間の長い東尋坊

島根県に横山大観の絵画をコレクトした美術館があります。山の借景を利用して



足立美術館庭園

東尋坊を借景にした美術館(著名人が描いた東尋坊コレクション)や三好達治や高見順などゆかりの文学館など建設すれば、単に「岩を見て帰る」東尋坊から文化的な香りのする東尋坊となります。

また、夕日の見える時間まで過ごせば、宿泊場所も自ずから周辺に限定されてきます。

4、恐竜のいる東尋坊

昔、子どもの頃見た円谷プロダクションの映画に、「キングゴング対ゴジラ」とか「モスラ対エビラ対ゴジラ」というのがあり、岩場の下にゴジラが眠っているのが、落雷によってゴジラをめぐめさせ、助けてもらうというのが印象にあります。



東尋坊ゴリラ

福井県唯一の100万人観光地で、その8割が県外観光客なので、福井県内の名所や食をアピールするには最適です。

その発信基地としての機能(施設)を東尋坊に持たせるべきです。

岩場と恐竜は似合うので、自然公園を整備し、恐竜を設置するのも子供を誘客するのにも良いでしょう。とりわけ、勝山平泉寺と東尋坊との関係もありますから、物語としても成立します。

5、福井県観光地の発信基地

6、外国人観光客の誘客

越前加賀海岸国定公園であり、国の天然記念物・名勝に指定され、平成19年(2007年)には日本の地質百選に選定された東尋坊。

ジオパークとは、文字通り東尋坊のことです。世界で通用するジオパーク登録をし、広く海外観光客を誘客すべきです。

越前ガニなどの「食」と豊富で安価なゴルフ場にも囲まれています。福井港を利用したクルーズ客船などもどんどん実施すべきです。

7、国や県は東尋坊にもっと投資すべし

東尋坊は国(文化庁)の名所・旧跡であり、福井県の代名詞です。

ビジット・ジャパンとしての国の外貨獲得のための外国人観光客誘客、ビジット福井としての県外観光客外貨獲得のための投資をはかるべきです。

しかし、近年、県費は、県立恐竜博物館や県が補助金を出した地域などに重点配分され、県費など全く投入されていらない民間観光地などは自己責任、自助努力扱いです。

稼げる場所にこそ、県は全体構想を描いて集中投資すべきです。

都合のよいときにだけ「選択と集中」というのではなく、新しい観光地づくりもよいが、観光拠点にこそ集中投資して収益を確保すべきです。

入場料を1,000円とれば、10億円です。

これまでに主張してきたように、県立自然公園(ジオパーク)整備、冬でも夜でも来れる施設(文化、娯楽、浴場)整備で、滞在時間を長く確保できれば、県内経済波及効果は大きく、入館料、入浴料などで、2,000円、3,000円の収入を得るならば、年間20億、30億円の収益をあげることができま

す。仮に100億円の投資をしても、十分に回収できます。回収見込みのない公共事業に優先して、収益事業としての東尋坊観光にこそ、予算を投資すべきです。

8、明確な目標をもった観光プランを!

「1000億円の投資、年間実利益10億円、500万人観光地、100億円の外貨獲得、1,000人の雇用を創出しま



空から見た雄島

「このような具体的な数値目標をもった観光プランにすべきです。」

福井県観光新戦略(案)は、見てきたように、いい加減な観光地の定義、アバウトな観光客入り込み数、それに掛け算しての根拠なき観光消費額。

これでは、あいまいなもので、目標とはいえず、したがって、目標未達成でも何の反省もできません。

観光客が来て、帰るだけなら交通渋滞とゴミを残すだけです。

観光行政とは、収益事業であり、地域の雇用を確保し、持続可能な地域を創出するためにあることを肝に銘じるべきです。

地方創生という中央集権

福井県観光新戦略(案)の中で、「美」をテーマにした「美観、美食、美技、美湯、美心」という言葉を聞いて、三国町は「美

国、魅国、味国、観国」、私は20年ほど前の、旧三国町役場時代の長期ビジョンを思い出ししました。

▼地方創生戦略

国が、東京一極集中から地方に活力を!と、地方創生戦略が打ち出され、都道府県、市町村に「総合戦略」、「人口ビジョン」をつくるよう求めています。

それは絶賛する人もいるが、地方自治に関わって、24年の私にとつては、これほど屈辱的な思いはなく、国は地方を侮辱しているのではないかとさえ思えます。

「どこが「自治」なのか、国主導の中央集権であることは明白で、交付金やメニューが用意され、金太郎飴のような

▼「地域間競争に打ち勝つ」画一性

「各地域が観光振興に取り組む中で、厳しい地域間競争に打ち勝つためには、観光地の強みを極め、国内外から観光客を引き付け、他の追随を許さない「絶対的な観光地」を創ることが必要です。」

福井県観光新戦略(案)でも、このように「地域間競争に打ち勝つために」とあるのですが、「まちづくり」や「村おこし」も、その地域の魅力を引き出すとい

いながら、全国的に活躍する観光アドバイザーやコンサルタントを招いて、広告、宣伝、イベントなど、お祭り騒ぎの、どこも同じようなスタイルと形式で、行われているのが現状で、その結果、全国津々浦々、同じような景色が生まれています。

▼地域の持続可能性がキーワード

農業にも「産地間競争」のようなもので、先行して「産地」形成をめざすのですが、後発グループとの産地間競争で値崩れしました。

20代で結婚しなかったら刑務所に入れるとか、子供を産まなかったら罰金を取るというようなことができない以上、人口減少対策と言っても、ほとんど同じようなものが出てきて、その効果は薄く、人を奪い合う、地域間競争となるでしょう。

順位が上がった、人気が高い、ランキングや人の評価基準に踊らされることなく、また、特色を出そうと気張ることもなく、知名度最下位の福井県の「優位性」を發揮して、たんとんと冷静に未来を見つめ、落ち着いた視点で考える必要があります。

一過性の流行り廃りではなく、地域の持続可能性ということが重要なキーワードになると思います。

ウハウハ生きてウハウハ死んでいくようなものでなく、情緒(心)の国、日本の風土を活かした「懐かしい未来」を創造する足元を固めることが大切だと思います。



新緑の眼

孫への手紙 (3)

戦争ごっこ



初節句も終り、いよいよ春ですね。
離乳食もよく食べるようですね。

部屋の戸を開けると、首を後ろに倒して見て、そのあと扇風機のようにぐるぐると首をまわして爺を目で追いかけます。

それでも、最近、人見知りをするようになって、爺が抱くとすぐにメソメソした顔になりました。大声で泣くようになってきました。

それも成長の証です。爺は

少し悲しい気分になるのですが、「人見知りする子は賢い子」だと婆に慰められています。

3月11日に、ヤギの「アキ」が女の子を産み、15日には「ユカ」が女の子を産みましたが、突然だったので、風咲の哺乳瓶を使って、乳を飲ませました。

春に雪が降る日に生まれたので、「春子」と「雪子」、梅の花が咲いていたので「梅子」と勝手に爺が名づけてました。



ともできませんが、「春子」も「雪子」も「梅子」もいっしょに遊べる日を楽しみに待っているようです。

自然の中で、お前たちがスクスク育ち、遊びまわり、良い一生をおくってもらおうことが、爺の願いですが、それに

同じ年ですから、妹だと思つて可愛がつてください。でも、ヤギは生まれすぐ立ち上がり、もう元気にはしゃぎまわっています。平和な社会をつくること、食糧を確保すること、災害から身を守ること、これらは国民一人ひとりが認識する必要がありますが、とりわけ政治家には大きな責任があります。

自然界では、生まれてすぐ母親について行かないと他の動物に食べられてしまうからです。まだ、風咲は這うことも歩くこ

爺は、34歳で三国町議会議員、42歳で福井県議会議員になり、今4期目を終えて58歳、5期目に立候補します。

地方議員は、政治家と呼ばれますが、職業としての政治家は、国会議員からなので、爺の職業は「無職」扱いとなります。

爺は器用ではないので、二つのことを追いかけれられません。議員という仕事は、多くの人の代わりに仕事をするのが役目なので、中途半端にならないよう、それだけに集中しています。

ところで、大事な「平和」と「食糧」なのですが、世界には悪い人がいて、わざと戦争を起こして、武器でお金儲けをしたり、人の国の財産を奪おうとする欲張りな人がいます。

そういう人が政治家になつたり、政治を動かしたりすると、戦争が仕掛けられ、しかもとても良い戦争に巻き込まれます。

災害というのは、地震とか津波とか台風、竜巻など自然災害と火事とか爆発とか事故とか人がつくる災害があります。

もちろん、災害とは人に被害があることをいうので、無人島には災害はありません。災害といえば、忘れてならないのは、3月11日です。

ちょうど、「春子」と「雪子」の誕生日ですが、4年前の3月11日は、巨大地震と大津波、東京電力福島第1原発事故に襲われた東日本大震災が発生した忘れ難い出来事の日です。

全国の犠牲者は死者1万5891人、行方不明者2584人の計1万8475人となり、今なお23万人の人が避難生活を余儀なくされています。

放射能汚染水はたれ流し

福島原発事故はいまだにまったく収束されていません。

3つの原子炉でメルトダウンした100トンもの燃料棒が今どこにあり、どういう状態なのか誰も分からない状態です。地下水に混ざり込んだり、海に放出されているのではありません。これらは、半永久的にこの地域を汚染し続けるものと思われま

安倍首相は、オリンピック招致演説で「福島は今、我々のコントロール下にある」、「汚染水は港湾の0.3平方キロ内で完全にブロックされている」と明言したものの、放



射能汚染された雨水が港湾外に垂れ流されていることが公表され、「コントロールされているのは放射能ではなくマスメディア」と言われています。子供たちへの甲状腺がんの発生など、これからの心配です。人の命は長生きする人で100年程度ですが、放射能には、何十年という寿命の長いものがあります。

お前たちには、何の責任もないのに、お前たちは、その放射能の管理やその影響におびえて生きていかねばならないことを思うと、爺は、申し分ない気持ちでいっぱいです。

口に入るものが、放射能に汚染されていないものを極力選んでやることぐらいしか出来ません。それにしても、今になって、活断層の問題が指摘されていますが、昨日今日、活断層が出来たわけではなく、いかに原発を建設時の調査が加減だったかわかりません。

爺たちが、「原発の危険性」を指摘すると、「絶対、日本ではメルトダウンしません」、「そんなことありません。安全です」と

言っていた人たちは、どんな顔でいるのでしょうか。日本民族存続の危機ともいべき、多くの犠牲を出した勝てもしない戦争を始めた責任も負けた責任も、原発事故を起こした責任も誰もとらない。

失敗は誰にもあります。その原因と責任を明らかにして、失敗から学ぶことが大事です。反省できなければ、同じ過ちを繰り返します。

福島原発事故原因調査は、内部に入れないため、原因解明されておらず、見切り発車のまま原発再稼働へと動き出しています。

憲法と法律

茨城県選出の梶山静六が自民党幹事長のとき、中東情勢が緊迫化し自衛隊派遣の是非が議論になりました。今の状況と似ています。

その時、梶山は「政治家は憲法の決められた範囲内での行為しか国民から委託されていない。憲法を拡大解釈したり、無視したりするようなことを我々政治家はやってはいけない。派遣はできない」と、自衛隊派遣をはっきり否定しました。

安倍政権は、これまで歴代自民党内閣で、憲法に違反するとしてきた「集団的自衛権

の行使」を閣議決定しました。

簡単に言えば、自分の国を守るのは個別的自衛権、他の国を守るのが集団的自衛権です。

日本は法治国家といわれ、日本国憲法や法律によって、「してはならないこと」の約束事を決めて、みんなが仲良く暮らすことにしている国です。

しかし、「憲法」と「法律」は同じ決め事でも、性格が違います。

「憲法」は、国民が国家を縛るものです。(立憲主義)

「法律」は、国家が国民を縛るものです。

誰も税金など払わず、自由に勝手に生きたいけれど、それでは社会が成り立たないで、強制力をもちねばなりません。

だから、国家に対して、権力が与えられています。国家が国民を強制的に従わせる力を「公権力」といいます。

でも、公権力の使い方が間違っていたり、度が過ぎていたら大変です。

警察官が間違っただけで逮捕し、検察官も間違っただけで起訴して(裁判にかけて)、裁判官も間違っただけで有罪判決にすれば、無実の罪で刑務所に入ることになります。(これは実際に

あったことで冤罪といえます。)

権力は、間違っても間違いを認めません。認めたらりません。また、権力を持つ人は、自分のやっていいることをあれこれ批判されるのは苦手で、自分のやっていいることは「正義のため」で間違いではないと思いがちになる。

できれば、批判されたくない。国民には、自分のやっていいることに素直にしたがって欲しいと考える傾向にある。そして、ときには批判する人を排除したくなってしまう。

「国の政治を批判してはならない、批判したものは処罰する」。

こんなことをされては大変です。

しかし、過去にはそうしたことがありました。ナチスドイツ・ヒトラーもそうだし、戦争に突き進んだ日本でもそんな時代がありました。

国家(権力)が暴走してしまい、権力にとつて気に入らない人を排除し、ひいては戦争に突き進み、多くの人が大切な命、自由、財産を失うことになりました。

二度とそんなことにならないように、憲法を定め、国家に縛りをかけ、国民がコ

ントロールできる仕組みをつくりました。

憲法で、国家を縛るといいう考え方を立憲主義と言います。

▼集団的自衛権は憲法違反

「集団的自衛権」は、歴代自民党内閣で「憲法違反」とされてきました。

憲法に沿って、解釈することはあっても、「違憲」を「合憲」にする「解釈改憲」は明確な憲法違反です。

これをすれば、憲法などあつてもなくても良くなり、国民が国家を縛る立憲主義は成り立ちません。

冒頭の梶山静六元幹事長の言葉は正しいわけですが。安倍首相は、内閣法制局長官はに外務省出身の小松一郎氏を抜擢し、解釈の見直しを行いました。

▼権力の暴走を許す社会

野中広務、古賀誠元自民党幹事長の二人が「時事放談」に出演しているのを、たまたま見ました。

安倍首相の首相の施政方針演説について野中氏は、「昭和16年に東条英機首相が大政翼賛会の国会演説のラジオ放送を耳

にしたときと変わらない。」「重要な部分には触れないで非常に勇ましい感じで発言された」と厳しい批判をしていました。

「集団的自衛権行使」に3人の歴代内閣法制局長官が反対をしています。

このように、最近、元国会議員や外務省や経済産業省などのOBによる政権批判が見受けられます。

それは、多分、批判すべき人たちが何もしていないこと、苛立ちと理不尽さによる怒りだと思えます。

特定秘密保護法の制定、集団的自衛権の行使容認、武器輸出三原則の見直し、文民統制(シビリアン・コントロール)の見直しなど、あれよあれよという間に進みました。

いづれも、一昔前なら、国会審議がストップするような重大な案件だったものが、何事もなく通過していること、何怖さを感じます。

このまま行けば、日本国憲法9条改正へと突き進むのでしょう。

戦後70年、日本は平和憲法を軸とした平和国家として、経済大国となりました。

中東諸国においても、「あのアメリカと戦い、原子爆弾まで落とされ、それでも立ち上がって、経済大国となった日本」として、賞賛されてきました。

対象国に名指しされる事態になりました。

平和路線から舵を切ることに、どれほど国民がそれを理解しているのか、大いに疑問です。

たかが一内閣で、決めてよいことかと思えます。

日本という国の重要な進路を判断するのに、都合の良い論理や人事、メディア・コントロール、世論誘導ではなく、目的意識的に考えさせることが必要です。

▼三権分立は機能しているか

三権分立は、権力を立法権、行政権、司法権と分散させて、相互に抑制と均衡、チェックアンドバランスを図ることで、権力が暴走し、個人の権利自由を侵害しない仕組みです。

自民党もかつての中選挙

区では、派閥もあり、「自民党」といわれるほど自由な発言があつたわけですが、小選挙区になって、郵政選挙に見られる郵政民営化反対者に対する対抗馬擁立など執行部が公認権を持つので、批判検証が弱まっているように思えます。

国会が内閣を監視できなければ、三権分立も機能不全となります。

▼報道の自由は民主主義の根幹です。

政府広報予算は、(2012年度)40億6900万円から(2015年度)83億300万円に倍増しています。

新聞は50%、テレビは100%広告収入で経営していますから、政府のマスコミに対する影響力は益々大きくなっています。

最近、日本のメディアは、ソ連時代の機関紙「プラウダ」とか中国共産党の「人民日報」のようだと いわれるほど、無批判に政府や官庁の発表(プレス・リリース)をそのまま報道する政府広報紙という見方が強まっています。

「国境なき記者団」(言論の自由の擁護を目的とした、ジャーナリストによる非政府組織)による2014年度

「世界報道自由度ランキング」では、日本は59位に転落しています。

その理由として二つ挙げられており、一つは「福島第一原発をはじめとした報道の不透明さや政府などから開示される情報量の少なさ」という問題。もう一つが「特定秘密保護法」の際、日本の新聞は政府情報に隠蔽に協力したという問題でした。

報道の自由は民主主義の根幹です。「権力の監視者」であるべきです。

▼18歳からの選挙権

あつさり、次の参議院選挙から18歳から選挙権が与えられます。

果たして大丈夫なのか、という心配があります。

学校で、「政治」をどれだけ教わるのでしょうか。

歴史、中東情勢、ユダヤの歴史やイスラエル建国によるパレスチナ難民、テロの背景など教えるのでしょうか、爺は、一々説明して選挙運動をするのでしょうか。

戦争体験者が減り、戦争を知らない子供たちが増え、憲法9条を変えるにはもってこい、ということなのでしょうか。

「愛国は、悪党の最後の隠れ家」などというものの見方、考え方を教えるのでしょうか。爺の不安はつきません。



シリアの子供が描いた絵

夢をあきらめないで

作詞・作曲・唄

岡村 孝子

乾いた空に続く坂道 後姿が小さくなる 優しい言葉 探せないまま 冷えたその手を 振り続けた いくつかは 皆 旅立つ それぞれの道を歩いていく あなたの夢を あきらめないで 熱く生きる瞳が好きだわ あなたらしく 輝いてね 苦しいことに つまづく時も きっと上手に 越えて行ける 心配なんて ずっと しないで 似てる誰かを愛せるから 切なく残る痛みは 繰り返すたびに 薄れていく あなたの夢を あきらめないで 熱く生きる瞳が好きだわ あなたが選ぶ全てのものを 遠くについて信じている



一ねん S・S ぼくは、きょう、にちようびなので、うちのなかをほうきではきました。

おぼが、そばで「このごろ、じょうずにそうじできるようになったなあ。」と、ほめてくれました。

一ねん F・H ぼくは、ばん、おかあさんのかたをたたいてあげたら、かあちゃんは「ああ、らくになった。ありがとう。」といったので、やめました。

ぼくは、ひやくまでたこうとおもいましたが、やめました。

一ねん K・M きょうからふゆやすみですが、あさはやくおきまして。

とうちゃんとかあちゃんは、いそがしそうに、さかなをやっています。

わたしは、さかなをいぼんずつわたすおてつだいをしました。さかなは、いかとさばでした。

一ねん K・M かあちゃんは、だっこつきで、あさからいねこきをしていましたので、ぼくは、わらをはこんであげました。みんなで十そくはこびました。かあちゃんが、よろこびました。

新緑の気ままにトク

「二年生でも、すすんでお手伝いをしていく優しい気持ちも伝わってきました。加戸つ子は、とても素直で勤勉なのです。」

次に、「茶の実」第二十号を読んでみました。昭和四十三年度、この子どもたちが六年生の年に発刊されました。」

学校へいくと中 六年 M・M

ハーツ こおつた風に 白い粉のような息が広がった

あたりは 一面 銀世界 ぼくは 白い息を

雪にちりばめて 学校へ急いだ この雪がとけたら 中学生になるんだなあ

「季節を感じ取る感性と表現力が、すばらしいです。中学生になる希望や決意が伝わってきます。六年間の成長の大きさも、感じられます。加戸つ子は、とても繊細で誠実なのです。このように、作文や詩に表現することは、感じたこと、そして、生きているこ

との結晶です。自分自身の心の窓と言えらるでしょう。」

▼母校の小学校の卒業式にお招きをいただき、文集「茶の実」を手渡された。

校長先生が、私の中学の同級生で、ちょうど自分の時代の一年生の時と六年生の時のものを探したようだ。

それは、つまり1学級43名の私のクラスのものとなる。冒頭の「一ねん S・S」は、斉藤新緑君のようだ。

「おぼは」、「とうちゃん」、「かあちゃん」とみんなが素朴に書いていて、それが何かとてもいい。

今の一年生の子の文章を見たら、「ママ」と書いてある。

私たちの時代に、「ママ」といえば、「腹が減ったのか」、「ママ(ご飯) 食べ」だった。一年生の男の子が、日曜日に箒で掃除をし、「おぼは」にほめられたようだ。現在は、玄関を開けるとロボット掃除機が動いている。

「機械があれば、必ず機械あり。」

利なもので必ず仕事はそれを使ってするようになる。そうすると、人間の心は、どうしても機械の心になつてしまふ。

子供の時代には、機械を与えず、自分で小刀で鉛筆を削ったり、ほうきや雑巾で掃除ができる技能を身につけることは大切なことだ。

それにしても、6年M・M君の「学校へいくと中」は、素晴らしい。そういう道の選択をしたらどのように才能が開花したか見たかった。



「卒業生が唄う「旅立ちの日」の合唱を聞いていたら何だか泣けてきた。

「寒苦に耐えて柿の味、辛苦に耐えて人の味。」 「冬の次は春、冬の風雪に耐えて根を張ったものだけが、春に大きな花を咲かせられる」、

「日本は情緒(心)の国だ」と、いつも思いつきの励ましの言葉で申し訳なかったのだが、それにしても、小学校から英語だのパソコンだの、どこで情緒を養うのか、無我夢中で遊べる心の原風景を築く貴重な時間なのに…。

「勇気を翼にこめて 希望の風にのり…」 がんばれ!

▼さて、私も4年生の任期満了となり、5年生をめざすことになった。

これを書き終えて、今期の任務を終了させていただく。1年生が4年間あるはずだが、あつという間に過ぎる。地域が崩壊過程に入っていくのを食い止めるために、苛立つばかり。

多くの皆様の代表として、戦場に送られた兵士として、戦い続けた16年という思いであり、引き続き、その任務が与えられるなら、最強の兵士として戦うつもりである。

この間の、力強いご支援に心からお礼申し上げます。2匹のヤギが3匹の子ヤギを産み、桜の花が待ち遠しい日に。4年間のご支援に心からの感謝をこめて